

### ③ 旧東海道 ほどがや宿気まま旅 権太坂に挑戦

催行日 2016. 4. 27 (水) 天王町駅集合 9時

コース 天王町駅—神明社—保土谷駅前—金沢横町道標—軽部本陣跡—旅籠「本兼子屋跡」—大仙寺—外川神社—松並木プロムナード—樹源寺—権太坂—境木立場跡—境木地蔵尊—品濃—里塚—東戸塚駅



#### 金沢横町道標

ここは旧東海道の東側で金沢や浦賀往還への出入り口に当たり金沢横町と呼ばれていた。その角に案内石碑が4基並んでいる。左から二つめが保土ヶ谷の俳人であった基爪(きそう)の有名な句碑で「程ヶ谷の枝道曲れ梅の花」と杉田梅林への道を示している。この碑は地域有形民俗文化財になっている



### 軽部本陣跡（保土ヶ谷本陣）

慶長6年（1601）徳川家康より「伝馬朱印帳」が「ほどがや」宛てに出されたことで保土ヶ谷宿が成立。東海道を往還する幕府の役人や大名は宿場に設置された本陣に宿泊した。宿場の中でも一際立派な建物である本陣は代々苅部家が務め、現在は当時を偲ばせる門だけが残っている。明治3年に軽部姓に改称し現在に至る。



### 旅籠 本金子屋跡（まちかど博物館）

江戸時代本金子屋は旅籠として栄えた。明治時代色に建て替えられた現在の建物も、東海道沿いに建つ旅籠の面影を残している。敷地内には本格的な庭園（非公開）があり、大正天皇がお忍びで旅をするときに休んだと言われている岩がある。



### 大仙寺

開山は平安時代中期（969年）といわれ区内で最も古い寺の一つ。本陣を務めた軽部家の菩提寺であり、旧東海道からは山門をくぐり参道が続いていた。真言宗。

### 外川神社と一里塚と松並木プロムナード

区民と横浜市との協議により松 32 本を植樹し、旧東海道を象徴する松並木がよみがえった。



一里塚も復元し、塚の上には昔のように榎を植え、松並木とともに再現されている。お仙人様の名で親しまれ子どもの虫封じに効き目があると言われた。ご神木のケヤキが見事です。↑祭神は日本武尊。



#### ←樹源寺

鎌倉時代に建てられた医王寺が焼失したあと、江戸時代初期（1628年）に荻部家により身延山久遠時の末寺として開山した。都風山水造りの庭園がとても美しい。日蓮宗

#### 権太坂

昔は今より急坂で江戸からの旅人がはじめて出会う難所であった。一番坂と二番坂があり、松並木がつづき景色も良かった。だらだら坂であるが思ったよりきつくはありません。

\*菓匠 栗山 「境木おじぞうさんもなか」や「ごんた餅」が有名。



#### 境木地藏尊

海嵐に流れ着いた地藏が境木を気に入ってその場に座り込んだという伝説がある。かつて地藏堂境内にケヤキの大木があり、ここが武蔵国と相模国の境界であったことか「境木」という地名になったといわれている。

創建は万治2年（1659）江戸からの講中や立場で一服し、道中の安全を祈る街道の旅人が多く詣でた。現在のお堂は大正12年の関東大震災で倒壊後再建されたもの。

#### 境木モニュメント

境木という地名は、この地が武蔵国（保土ヶ谷宿）と相模国（戸塚宿）の境であり、昔は木杭が立てられていたことから来ている。これをモニュメントとして平成17年3月完成。



### 境木立場跡

保土谷宿からも戸塚宿からも難所の坂を上り詰めたところに旅人や馬が休息するところに立場が設けられ、数件の茶屋があった。そのうちの若林家には明治天皇も休息されました。

### 品濃一里塚

江戸から数えて9番前の一里塚。神奈川県内ではほぼ完全な形で残る唯一の一里塚で県の指定史跡になっている。



C班は大仙寺を見学後、保土谷商店街に戻り駅前を通過して横浜方面に向かいます

### 遍照寺

開山の年代は不詳。本尊の薬師如来像は横浜市の指定文化財念仏百万遍の供養塔や岡野新田を開拓した岡野家の墓所もある。真言宗。



## 大蓮寺

開山は江戸時代初期（1625年）。日蓮上人が泊まった家を法華堂に改修したのが寺の始まりとのこと。家康の側室おまんの方お手植えのザクロの木がある。日蓮宗。

## 天徳院

開山は安土桃山時代（1573年）本尊は運慶作といわれる地藏菩薩坐像。土地の豪族、小野筑後守が帰依して建立した。曾洞宗。



## 香象院

開山の年代は不詳。保土谷宿で最大の寺子屋があり、明治6年（1873年）に保土谷小学校の分校となった。保土谷の郷土家磯貝正氏の功績をたたえた碑がある。真言宗。

## 神明社

創建は平安時代中期（970年）当地は伊勢神宮の御領地として寄進されその鎮守として神明社が建立された。祭神は天照大神。



## 見光寺

開山は江戸時代初期（1629年）保土谷の住人で熱心な浄土宗の信者、茂平夫妻が建てた。保土谷出身のコラムニスト青木雨彦氏の句碑がある。



### 帷子橋跡モニュメント

昭和39年の帷子川の河川改修以前、今の天王町駅前公園に旧帷子橋が架かっていた。

### 橋樹神社

創建は鎌倉自ぢ時代初期（1186年）江戸時代は牛頭（ゴズ）天王社といい天王町の由来でもある。大正時代に現



在の橋樹神社となった。本殿の裏手には横浜市内最古と言われる寛文9年（1669年）の銘が刻まれた青面金剛庚申塔がある。

相鉄線天王町駅



相鉄線天王町駅  
帷子川



\*本資料に掲載されているマップは保土ヶ谷区役所 区政推進課発行のマップより転載